



R2. 9. 1発行

新年度が始まってからあっという間にもう9月ですね。まだまだ暑い日は続いています。少しずつ夏の疲れが出てくるので十分に休息を取りながら過ごしていきたいと思います。この夏いろいろな経験し、また一段と子どもたちが大きくなったように感じます。

水遊びではタライに水を入れて玩具を使って遊んだり、保育者がかけるシャワーや水しぶきを「雨だ!」「冷たいね」と話しながら水や温水を浴びることを楽しむ子ども達。遊び方も大胆になり全身を使って楽んでいる姿が見られます。オムツが取れている子どもはプールにも入りました。腹這いの体勢で「ワニさん」「イルカさん」と動きを真似て全身でプールにつかっています。水遊びだけでなく、感触遊び（泡、氷、絵の具、片栗粉、など）もたくさん行いました。普段なかなか触れることのない素材では恐る恐る触れていた子どもたちも今では興味を示し、自分から触れて感触を味わっています。泡遊びでは「フワフワしてる」「気持ちいい」と感触に気が付き、友だち同士で腕や足につけあって楽しんでいました。氷遊びでは「溶けちゃった」と形の変化に気付くと小さくなった氷を名残惜しそうに見つめています。

引き続き、様々な感触遊びをとりいれていき、子どもたちの気付きや発見に繋げていきたいと思っています。



☆友だちや保育者と一緒に全身を動かして遊び、様々な運動体験をする。

わらい

（走る・昇り降りする・跳ぶ）

☆身の回りのことを自分でしようとする

活動

・誕生会・避難、引き取り訓練・身体測定・水遊び
・感触遊び・散歩・指先遊び・巧技台遊び

選択してみよう!

「これがいい!」「あれやりたい!」と様々なことに興味を示す子ども達。日々の生活や遊びの中で“子どもたち自身で選択する力”を育てていくため、日々の生活や遊びの中で「どっちがいい?」と問いかけるようにしています。失敗させたくないあまりつい誘導してしまいがちなこともあると思いますが是非ご家庭でも「どっちがいい?」等と選択肢を与えてみてあげてください。

